

KAREL ČAPEK

劇団印象 -indian elephant-
第 29 回公演

カレル・チャペック—水の足音—

2022年

10月7日(金)——

10月10日(月・祝)

東京芸術劇場 シアターウエスト

作・演出 — 鈴木アツト

出演 — 二條正士、根本大介、岡田篤弥、
今泉舞、山村茉莉乃、岡崎さつき、柳内佑介、
井上一馬、勝田智子、河波哲平、佐藤慶太、
佐藤勇輝、星野真央、堀慎太郎、松浦プリシラ亜梨紗

文化庁「ARTS for the future!2」補助対象事業

後援 — チェコセンター東京

企画・主催 — 特定非営利活動法人 劇団印象 indian elephant



闘争か共生か。軍靴の足音が迫るプラハ、母語によって分断される国民。 その荒波に抗った、“言葉”を愛した芸術家たちの群像劇。

『ロボット(R.U.R.)』『山椒魚戦争』で知られるチェコの劇作家・小説家カレル・チャペックと、チェコスロバキア共和国内に住む、ドイツ語話者たち(ズデーテン・ドイツ人)との関係を描きたいと思い、この物語を書いている。

チェコスロバキア共和国は、第一次世界大戦中の1918年に、ハプスブルク(オーストリア)帝国の解体によって生まれた新しい国だった。しかし、新生の共和国は領域内に、様々な民族を抱え込んでいた。特に、ハプスブルク帝国時代に支配言語であったドイツ語の話者たちは、チェコ時代になって、二級市民扱いされたことによって不満を溜め、軋轢が生まれていった。その鬱屈は、二十年をかけて大きくなって

き、やがて、ドイツ語話者が多く住むズデーテン地方をナチスドイツに割譲するという、ミュンヘン協定に繋がっていく。

同じ土地を故郷に持ちながら、母語が違うというだけで、分断されていく国民たち。文化は言語を通して生まれ、育まれる。だからこそ人間は母語に誇りを持つ。しかし、同じ言葉を喋らない人々に対して不寛容になり、時に恐怖心さえ持ってしまう。母語は、個人のアイデンティティと分かち難く結びつき、“よそ者”を作り出す、人間の原罪の一つだ。チャペック兄弟の人生を借りながら、この母語と国家をめぐる物語を届けたいと思う。(劇作家)

公演日程

2022年10月7日(金)～10日(月・祝)

*全7ステージ

【開演時間】

10/7(金) 14:00 / 18:30

10/8(土) 13:00 / 18:00★

10/9(日) 13:00 / 18:00★

10/10(月・祝) 13:00

*上演時間: 2時間(予定)

*各回とも受付開始は開演の60分前 / 開場は開演の30分前。

*10/9(日)は動画撮影用カメラが客席に入ります。

★印: 終演後アフタートーク(約30分)あり。

チケット

【チケット料金】

全席指定 / 前売・当日とも同一料金

一般: 4,500円 U-25: 3,000円

初回割(10/7(金)14:00の回のみ)

一般: 4,000円 U-25: 2,500円

*U-25は25歳以下が対象です。当日、年齢のわかる書類をお持ちください。

*未就学児童のご入場はご遠慮ください。

*やむを得ぬ事情により、公演情報等に変更が生じる場合がございます。

*ご入場時の検温、マスク着用にご協力ください。発熱や体調不良が認められる方はご入場をお断りする場合がございます。予めご了承ください。

*車椅子席のご希望の場合は、J-Stage Naviまでお問い合わせください。

*託児サービスのご案内

東京芸術劇場でご鑑賞の際には、一時託児をご利用いただけます。

有料・定員制・土日祝を除く希望日1週間前までに要申込。

ご予約受付・お問合せ: 株式会社ミラクス ミラクスシッター(電話)

0120-415-306(平日9:00～17:00)

【チケット取扱い】

7月20日(水)10時より発売開始

●東京芸術劇場ボックスオフィス(窓口販売・電話・WEB)

0570-010-296(休館日を除く10:00～19:00) <https://www.geigeki.jp/t/>

●チケットぴあ

<http://ticket.pia.jp> (Pコード: 513993)

●ローソンチケット

<https://l-tike.com> (Lコード: 33968)

●J-Stage Navi(電話・WEB)

03-6672-2421(平日12:00～18:00) <http://j-stage-i.jp/>

【お問合せ】

MAIL info@inzou.com

TEL(J-Stage Navi) 03-6672-2421(平日12:00～18:00)

HP <http://www.inzou.com/>

Twitter <https://twitter.com/inzou>  [inzou](https://twitter.com/inzou)

いんどう 劇団印象-indian elephant-

劇作家・演出家の鈴木アツトを中心に2003年に設立。「遊びは国境を越える」という信念の元、“遊び”から生まれるイマジネーションによって、言葉や文化の壁を越えて楽しめる作品を創作している。主な作品は『ジョージ・オーウェル〜沈黙の声〜』『藤田嗣治〜白い暗闇〜』『エーリヒ・ケストナー〜消された名前〜』など。海外での上演・共同創作も多数。



※劇団印象-indian elephant- 所属

*写真3段目は、アンサンブルキャスト。

会場 東京芸術劇場シアターウエスト

東京都豊島区西池袋 1-8-1

*JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線「池袋駅」西口より徒歩2分。池袋駅地下通路2b出口と直結。



- 作・演出: 鈴木アツト ●ドラマツルク: 沈池媚(シム・チヨン) ●舞台美術: 佐々波雅子
- 舞台監督: (株)ステージワークURAK ●照明: 篠木一吉((有)創光房) ●音響: 斎藤裕喜(Québec)
- 衣裳: 仲村祐紀子 ●小道具: 西宮紀子 ●ヘアメイクプラン: 西藤恭子 ●振付: 山村菜梨乃
- 演出助手: 小杉咲貴、モカ ●宣伝デザイン: 沼上純也(イキマ) ●宣伝イラスト: 大野舞"denali"
- 舞台写真: 菅原康太 ●音楽・制作: 村上理恵 ●制作協力: J-Stage Navi
- 協力: オフィスニュース、エンパシ、krei inc.、イツフォーリーズ、オールスタッフ、ALBA、ピクチャーミュージックアーツ ●文化庁「ARTS for the future!2」補助対象事業 ●後援: チェコセンター東京
- 企画・主催: 特定非営利活動法人 劇団印象indian elephant